

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

**JK ホールディングス株式会社**（証券コード：9896）

## 【変更】

長期発行体格付 **BBB** → **BBB+**  
格付の見通し **ポジティブ** → **安定的**

## 【据置】

国内CP格付 **J-2**

## ■ 格付事由

- 当社は住宅建材商社であるジャパン建材を中核に、住宅関連企業を傘下に展開する純粋持株会社である。グループの一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。全国に販売・物流拠点を有し、合板、合板二次製品、住宅建材などの卸売を中心に手掛けている。豊富な商品ラインナップやきめ細かな配送などにより差別化を行い、木質系建材卸売業ではトップクラスのシェアを有している。また、製造・加工業者や小売業者を積極的に買収することで、事業基盤の拡充を図っている。
- 建材市況は落ち着き、住宅需要に不透明感はあるものの、利益は従前より高い水準を維持できると考えている。当社は建材流通の上流から下流までを一貫して手掛け、製造加工部門や海外部門も有するなど総合的な調達力を活かすことで顧客ニーズに対応し、適切な価格転嫁ができています。また、建材小売業者の買収により商圏や拠点を増加させ、地域密着型の販売や配送体制が整備、強化されている。さらに、付加価値製品や非住宅事業の強化に加え、合板工場新設などにより、高まる国産材のニーズに対しても適切に対応している。財務面では手元流動性と自己資本の拡充が進み、財務運営の余裕度が高まっている。以上を踏まえ、格付を1ノッチ引き上げた。見通しは安定的である。
- 22/3期の営業利益は124億円（前期比129.7%増）と過去最高となった。木質系建材が調達難となる中、適切に供給責任を果たしながら価格転嫁を進めた。23/3期の営業利益は91億円（同27.1%減）の計画であるが、前期の22/3期に次ぐ高い水準となる見込み。24/3期以降は引き続き堅調な業績推移が予想される。総合建材卸売事業は、さまざまな顧客ニーズへの対応力が強化されており、収益力の維持向上が可能とみている。合板製造・木材加工事業は市況の影響を受けやすいが、環境問題の観点もあり、国産材を有効活用した当社製品の需要の高まりが期待される。総合建材小売事業はM&Aにより販路や物流拠点の拡充が進み、卸売事業に寄与するだけでなく、グループ内再編により収益性が高まっている。
- 23/3期第3四半期末の自己資本比率は23.3%（前年同期末21.8%）と緩やかだが改善傾向が続いている。今後も事業基盤強化のためM&Aを積極的に進める方針であることから有利子負債や総資産が膨らむ可能性がある。しかし、豊富な手元流動性を有していることに加え、好調な業績による利益の資本蓄積により、財務構成が大きく悪化する懸念は小さいと考えている。また、以前より与信管理の厳格化を進めており、与信コストに大きな増加は見られない。

（担当）加藤 直樹・井上 肇

## ■ 格付対象

発行体：JK ホールディングス株式会社

## 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

## 【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	50 億円	J-2

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2023 年 3 月 22 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：加藤 直樹
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「国内事業法人・純粋株式会社に対する格付けの視点」（2003 年 7 月 1 日）、「持株会社の格付方法」（2015 年 1 月 26 日）として掲載している。
- 格付関係者：  
(発行体・債務者等) JK ホールディングス株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル